

No.208

Winter | February 2021



SAISEIKAI
KYOTO
HOSPITAL

kyoto.saiseikai.or.jp

なでしこ



特集
心房細動
という
不整脈

社会福祉法人 恩賜財団 済生会とは

済生会は、明治天皇が医療によって生活困窮者を救済しようと明治44(1911)年に設立しました。100年以上にわたる活動をふまえ、今、次の三つの目標を掲げ、日本最大の社会福祉法人として全職員約63,000人が40都道府県で医療・保健・福祉活動を展開しています。

- 生活困窮者を済(すく)う
- 医療で地域の生(いのち)を守る
- 医療と福祉、会を挙げて切れ目のないサービスを提供

病、老い、障害、境遇…悩むすべてのいのちの虹になりたい。済生会はそう願って、いのちに寄り添い続けます。

総裁：秋篠宮皇嗣殿下 理事長：炭谷 茂

なでしこ紋章の由来



初代総裁・伏見宮貞愛(ふしみのみやさだなる)親王殿下は、明治45年、済生会の事業の精神を、野に咲く撫子(なでしこ)に託して次のように歌にお詠みになりました。

露にふす 末野の小草 いかにぞと あさ夕かかる わがころかな
野の果てで、露に打たれてしおれるナデシコのように、生活に困窮し、社会の片隅で病んで伏している人はいないだろうか、いつも気にかけてしかたがない

この歌にちなんで、いつの世にもその趣旨を忘れないようにと、撫子の花葉に露をあしらったものを、大正1年以来、済生会の紋章としています。

saiseikai.or.jp



SAISEIKAI KYOTO HOSPITAL

◎理念

思いやりの心・質の高い医療・明るい職場
～医療を通して地域に貢献～

◎基本方針

- 患者さん本位の良質で安全・適切な医療の提供
- 地域に応える連携・救急・災害医療・健診と地域包括ケアの推進
- 多職種によるチーム医療と協働の推進
- 人材育成・確保、勤務環境改善と働き方改革の推進
- 経営改善と新築移転事業の遂行



◎受診案内

診療受付時間 8:50～11:00(予約診療の方は17時まで)

診療開始時間 9:00から

休診日 土・日・祝日・年末年始

救急受付 24時間可能な限り対応

(ご連絡のうえ来院してください。TEL 075-955-0111)

受診の際は必ず手帳をお忘れなく

◎交通案内

駐車場あり(約160台)

●阪急京都線「長岡天神駅」下車、西出口よりバスまたは徒歩15分

●JR東海道線「長岡京駅」下車、西出口よりバスまたはタクシー

●阪急バス：

・JR「長岡京駅」より阪急「長岡天神」経由

⑦美竹台住宅前経由

⑧奥海印寺(循環)済生会回り

⑨奥海印寺(循環)梅ヶ丘回り

各バスで「済生会病院」下車

・その他、他系統バス「東台」「太鼓山」下車、徒歩5分



社会福祉法人
恩賜財団

済生会京都府病院

〒617-0814 京都府長岡京市今里南平尾8番地 電話 075-955-0111(代表) FAX 075-954-8255 https://kyoto.saiseikai.or.jp/



社会福祉法人
恩賜財団

済生会京都府病院

新病院、今、どうなっている？

2022年に新築移転をする新病院が、今どんな状況かこれまでの経緯を含めご紹介します。

2017年6月

下海印寺下内田土地区画整理準備組合
と協定書を締結（13日）

2019年8月

病院建設予定地での発掘調査において、
長岡京の造営に関わったとみられる人物
の仮住まいの建物跡を発見。

2020年5月

長岡京市と移転新築整備等に関する
基本協定書を締結（21日）

2020年7月

地鎮祭（3日）、着工

2020年11月

立柱式（27日）

クレーンで第1柱を建てたあと、清め塩
とお神酒で柱の周囲をお清めし、建築
関係者・工事関係者・当院関係者で
今後の安全を祈願しました。



済生会京都府病院の移転新築整備
及び運営等に関する協定締結式



2020年12月

地上部分の建築が進んでいます。



2021年1月

7階部分まで鉄骨が建っています。

当院ホームページで建築状況
をご覧いただけます。

ドローンによる空撮動画（下海印寺まち
づくり協議会提供）もあります！

新病院の
情報は
こちら ▶



旬の食材と栄養

白魚

「月も朧に白魚の簀も
霞む春の空」とは歌

舞伎「三人吉三廓
初賀」の名台詞。

最後の台詞「こいつあ春
から縁起がいいわえ」

は有名ですね。江戸時代、
隅田川で篝火を焚いて白魚漁が

はじまると、春が訪れるといわれま

した。白魚は春の季語です。2〜4

月に旬を迎え、細くとがった魚体は、

新鮮であればあるほど透き通ってい

て美しいです。骨ごと食べられる魚

でカルシウム・マグネシウム・リンな

ど骨の生成に不可欠なミネラルを豊

富に摂取できます。また、ビタミンA

となるレチノールが多量に含まれてい

ます。活性酸素を抑えて動脈硬化、

心筋梗塞などの生活習慣病の対策

や免疫力も向上にも期待できます。

春の味覚の白魚は、刺身や天ぷら、

かき揚げ、煮物、吸い物、しらす干し

など様々な料理に使用できますよ。





高齢化に伴い増加している不整脈のひとつ「心房細動」は、心房内の電気信号が乱れ、心房がけいれんしたように細かく震える心臓の病気です。
この病気を根治するアブレーション治療とは？

後列右から3番目：横江 洋之
前列右から2番目：石橋 一哉



心房細動という不整脈と治療

副院長・循環器内科部長 **石橋 一哉**

心房細動は、日本で約100万人が経験するといわれる不整脈で、決して珍しい病気ではありません。心房が細(こま)かく動くので心房細動という名前がついていますが、実際は心房がほぼ動いていない状態です。心臓が停止しているわけではなく、大事な心室はちゃんと動いていますので、すぐに命が脅かされることはありません。ただやっかいのことに、10年から20年の年月を経て、じわじわとポディーブローのようにきいてくる心臓の病気です。以前は良性の不整脈とされていましたが、決してそうではないことが近年わかってきました。長い経過を経て弁膜症を発症し、心臓の機能が徐々に低下し、高齢者ではしばしば心不全の原因となります。また、経過中、左心房内(左心耳)に血栓ができて、血栓が頭の血管に移動して血管が閉塞し、

脳梗塞を発症します。脳梗塞になると緊急で処置が必要で、放置すると大きな後遺症が残り、ねたきりの状態になる可能性が高いです。
でも、安心してください。心房細動は医療の著しい進歩により根治できる不整脈になってきています。その治療法が、カテーテル・アブレーションという方法です。数日間の入院で根治させることができ、すぐに社会復帰できます。アブレーションとは、心房細動の原因である肺静脈起源の不整脈を封じ込める治療法で、4本ある肺静脈を電氣的に隔離する(血管から心臓の中に異常な電気信号が流れ込まないようにする)方法です。
アブレーションは特に、心房細動による自覚症状(動悸、胸の違和感、ふらつき、息切れなど)が強い方、心臓の機能がやや低下している方にお勧め

します。また、心房細動を発症してから早い段階での治療が特に有効です。経過が長い方は有効率が低くなります。この治療はカテーテル治療であり安全性は極めて高いですが、心臓の手術ですので危険はゼロではありません。そのため、成功率、安全性、危険性について担当医と十分に話し合った上で、治療を受けてください。当院では、不整脈の専門医2名(石橋、横江)が診療にあたっています。

石橋 一哉 (いしばし かずや)
副院長、循環器内科部長。日本内科学会認定総合内科専門医、日本循環器学会認定循環器専門医、日本不整脈心電学会認定不整脈専門医。1988年京都府立医科大学卒業。大学院修了後、京都府立与謝の海病院、亀岡市立病院を経て2006年に現病院に赴任。2018年5月より現職。京都府立医科大学臨床教授、乙訓医師会理事などを兼務。

心房細動に対するアブレーション治療

循環器内科 副部長 横江 洋之

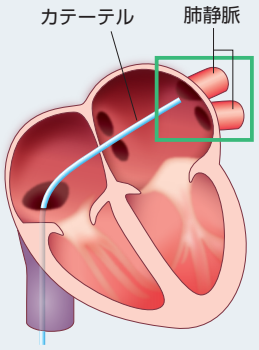
近年は心房細動に対するカテーテルアブレーション（心筋焼灼術）の成績が向上し、心房細動が時々起こる発作性の心房細動や常に心房細動が続くようになった場合でも持続期間の短い（1年未満）心房細動においては、アブレーション治療を投薬治療と並ぶ治療の第一選択と考えています。早期に治療できたケースでは80%以上の方が1回のアブレーション治療で心房細動の不快感から解放されます。

実際のアブレーション治療は、心房細動の引き金（トリガー）となる電気興奮を取り除き、正常な

電気興奮により心臓が再び正常にリズムよく収縮できるようにします。健常な心筋はできるだけ残し、悪さをする興奮は焼灼、または健常部位から電氣的に隔離するようにします。実際の治療は平均2～3時間で、安全性も高い鎮静薬と鎮痛薬を上手に使用し、眠っている間に安定した呼吸管理下に行います。治療による痛みや不快感がなく、治療の確実性・安全性が向上したため、高齢の方でも安全に治療を受けていただけるようになりました。アブレーション治療は、最新の高密度マッピングカテーテルを使用し患者さん毎に心臓を3次元で

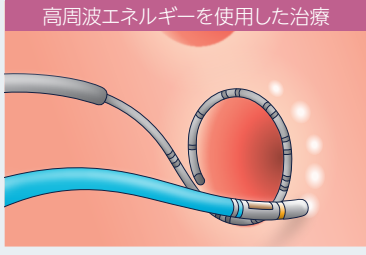
立体・可視化しオーダーメイドで行います。安全で確実な通電効果が得られる治療用焼灼カテーテルも導入し、不整脈デバイステクノロジーの進歩を駆使して複雑な不整脈の回路を同定し、治療を行っています。

当院のアブレーション治療はより低侵襲に、合併症が少なく、確実な治療を行うことをめざしています。不幸にも再発した場合でも、循環器内科スタッフと不整脈担当臨床工学技士の心臓不整脈電気生理治療チームで何故再発したかを検討し、再アブレーションで根治できるように努めています。



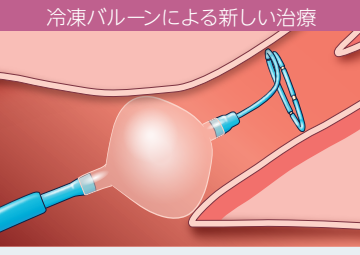
カテーテル 肺静脈

高周波エネルギーを使用した治療



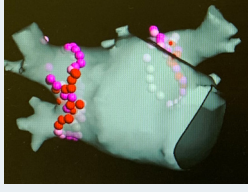
治療カテーテル先端の高周波電流による摩擦熱(40～50℃)で30秒ずつ異常部位を焼灼し治療を行っています。カテーテル先端から生理食塩水が噴出し、血栓の形成を予防し高い治療効果を発揮します。カテーテル先端で接圧と安定性・方向が表示されるため安全に治療が可能です。

冷凍バルーンによる新しい治療



-40から-60℃で冷やした窒素ガスの風船で異常電気を含む部位を2、3分間ずつ一気に冷却して異常な部分だけ冷凍アブレーションします。

治療後の心臓の3次元マッピング画像



左心房の中で小さな通電エリア(4mm 赤と桃の○)を繋げ異常電気興奮を閉じ込め、心房細動が生じるのを予防します。

横江 洋之（よこえ ひろし）

循環器内科副部長。専門分野は不整脈カテーテルアブレーション・デバイス治療、循環器内科全般。

2002年関西医科大学卒業。市立岸和田市民病院、関西医科大学枚方病院、河内総合病院の勤務を経て、2020年に済生会京都府病院に赴任。2020年10月より現職。

こんにちは

経営企画課です。

病院の経営全体をサポート！

病院は株式会社のような営利を目的とする組織ではありません。しかし医療従事者の雇用や医療機器の整備など、高度で適切な医療を提供するためには健全な経営が不可欠になります。経営企画課では、病院の運営全般に渡り、経営陣の意志決定のためのサポートをしています。また、情報システム、診療情報管理、企画広報などの業務も行っています。多様な業務を抱える経営企画課ですが、7人のチームワークで日々職務にあたっています。



情報システム



主に病院全体のコンピュータおよびネットワークの管理を行っています。医療の世界も電子化が進み医療機器や電子カルテなどあらゆる機器がネットワークで結ばれています。みなさんに滞りなく受診していただけるよう日々業務にあたっています。

診療情報管理室



診療情報管理室では、診療記録(カルテ)・診療情報を適切に管理、運用、保管し、情報活用の支援を行っています。大切な情報を慎重に取り扱い、データや情報を分析し活用することにより医療の安全管理・質の向上をサポートしています。

企画広報室



当院の色々な情報を広報誌やホームページなどを通じて院内外に発信することで、病院と職員、病院と地域のみなさんのコミュニケーションの構築をしています。この「京なでしこ」も私たちが作っています。